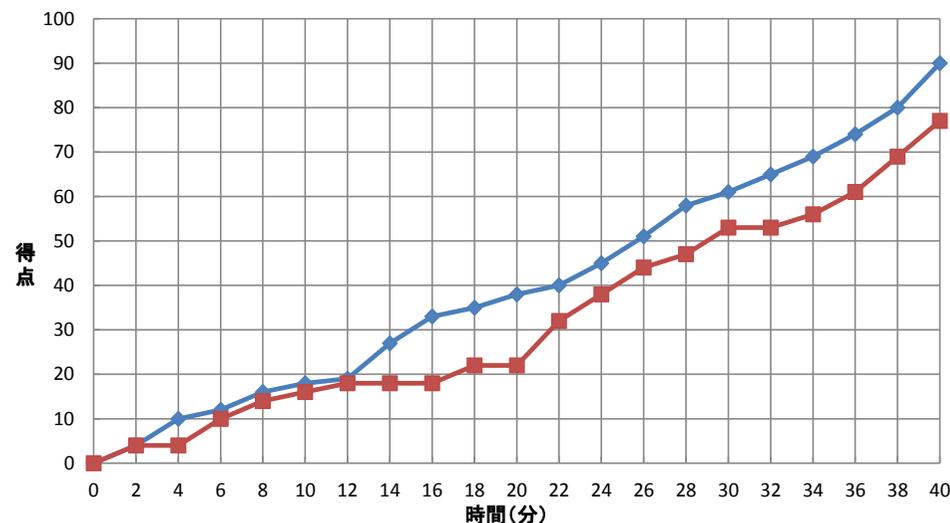


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成27年7月30日		13:20 開始													
2回戦		山城総合運動公園体育館		G													
◎ 明秀学園日立 90		<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>31</td></tr> <tr><td>29</td><td>4th</td><td>24</td></tr> </table>		18	1st	16	20	2nd	6	23	3rd	31	29	4th	24	77 純心女子	
18	1st	16															
20	2nd	6															
23	3rd	31															
29	4th	24															
(茨城県)				(長崎県)													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	大井川 明日香	9	0	4	1	2	* 4	小林 栞	35	4	8	7	2				
* 5	菊地 恵里奈	12	0	6	0	1	* 5	狩浦 美優	13	1	5	0	4				
* 6	池元 美沙希	17	0	6	5	0	6	河嶋 なな	9	0	4	1	1				
* 7	岡田 英里	27	4	6	3	3	* 7	岩崎 ひなの	10	2	2	0	3				
8	中野 愛	-	-	-	-	-	8	村井 美月	0	0	0	0	0				
9	大川 星菜	0	0	0	0	0	9	岡部 美咲	0	0	0	0	0				
10	市川 知奈	11	0	3	5	1	* 10	荒木 裕美	4	0	2	0	2				
* 11	真栄城 紗英乃	7	1	1	2	0	* 11	吉田 光	4	0	2	0	2				
12	後藤 未来	4	0	1	2	0	12	日高 理子	0	0	0	0	0				
13	藤井 未咲	-	-	-	-	-	13	勝田 結菜	0	0	0	0	0				
14	瀧 優梨紗	0	0	0	0	1	14	池 愛華	0	0	0	0	1				
15	吉原 憂良	3	1	0	0	1	15	前田 芽生	2	0	1	0	2				
コーチ	筑波 大					0	コーチ	大久保 千万太					0				
Aコーチ	照沼 幸香						Aコーチ	舟越 孝之									
合計		90	6	27	18	9	合計		77	7	24	8	17				
主審: 前田 喜庸																	
副審: 寺田 雄一																	

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:40	:	21:20	37:24	:	:	:	:
TeamB	13:12	15:13	27:55	38:36	:	:	:	:

【戦評】

地元京都精華を落ち着いた試合運びで勝った明秀日立と多彩なディフェンスで柴田女子に勝利した純心女子との一戦。
 第1P、両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマン。立ち上がり明秀は#5のインサイドで加点、8-4と明秀のリード。純心は#5スクリーンからのドライブインで果敢に攻め8分で12-12と追いつく。その後一進一退が続き、18-16で明秀リードで第1P終了。
 第2P、膠着状態が続く中、明秀が速攻と3Pで徐々にリードしていく。5分たまたら純心タイムアウト。その後も明秀#7の3Pが決まり5分で27-18と明秀リード。純心も中、外と積極的にシュートを放つが決まらない。逆に速攻からのジャンプシュートを決められ、残り4分で31-18とリードを広げられる。ここで純心2回目のタイムアウト。残り1分純心のミスも重なりさらに明秀が加点。38-22の明秀リードで前半終了。
 第3P、純心オールコート2-2-1からの2-3ゾーンが功を奏し、2分で40-30と点差を詰める。純心攻めにもリズムをつかみゴール下を果敢に攻め4分で5点差まで詰める。明秀も#7の3P・ジャンプシュートで対抗し流れを戻し始める。残り2分58-47で純心タイムアウト。純心#4、#5の3P、明秀も#7フリースロー、ゴール下と対抗し、61-53の明秀リードで第3P終了。
 第4P、明秀#7、#6がゴール下シュートを決め69-54とリードを広げる。その後、純心も速攻と#7の3Pで8点差に詰める。残り4分速攻から明秀#4のバスケットカウントが決まり73-61。ここで純心タイムアウト。純心オールコートに出るが、明秀は落ち着いたボール運びさらに加点。残り3分80-65とリードが広がる。食い下がる純心は#6ゴール下に入り込みシュート。80-67で明秀がタイムアウト。純心はさらにオールコートプレスで食い下がるが、またも明秀#7の3P。残り1分、純心3回目のタイムアウト。純心#4が3Pを決め最後まで意地を見せる。明秀は相手のプレッシャーを冷静に対応してシュートを決める。純心は最後#4がバスケットカウントを決めるが90-77で明秀が勝利した。途中から#5を欠場しながら、全員でリバウンドと相手プレッシャーを冷静に対応した明秀とディフェンスの変化とリズムあるオフェンスから果敢にゴール下を狙う純心の見ごたえのあるゲームであった。

戦評: 土本 光宏

記録: 東宇治高校